

コース番号	訓練科名	定員(最少開講人数)	訓練実施施設	レベル
311D3	こども英語講師養成科	15名(3名)	コスモグローバル コミュニケーションズスクール	初級

●科の内容

英語業務や教育業界が未経験の方でも、安心して受講できるように、英語力全般の底上げに繋がる授業や、こども英語講師に必要な知識、実技の内容が充実しています。
 学科科目にて講師に必要な知識を学び業務理解を深めます。実技科目では10種類以上の演習テーマについて自分でレッスン計画を作成し、クラス内でロールプレイ演習(デモレッスン)を行うなど発表する機会が数多く設定されているので、自身の強み、弱みが明確になり自己理解が深まります。
 実習を通して講師に求められるスキルを自覚し、自身の特性を理解する事で、自信を持って講師職へ応募する事が可能になります。多数の卒業生が各エリアで現役講師として活躍しています。

●取得目標資格

TOEIC 700点以上(訓練修了時にTOEIC IPテストを実施)
 ※TOEIC IPテストは訓練期間中に実施。受験料無料

●就職先の主な職務

民間の児童英会話教室での講師など

●独自の就職支援内容

こども英語学校求人説明会及び個別相談会の実施
 求人票の掲示・案内・面接指導、就職セミナーの紹介など

●訓練に用いる主な設備等

CDプレイヤー、パソコン、プロジェクター

○訓練実施施設所在地

名古屋市中区金山四丁目1番24号 コスモビルII 9階

○受講生の応募条件

- ・TOEIC 450点以上、または、同等の英語力の方(応募の段階で満たしていない場合は、入校までに同等の英語力を得るための努力ができる方)
- ・訓練修了後3か月以内に就職(業種を問わず)したい方
- ・当校の定める規則を守ることが出来る方

○適性検査の方法

筆記試験(国語・算数・一般常識・英語)及び面接(日本語・英語)

○適性検査の合格基準

筆記50点満点中11点以上 面接50点満点中26点以上
 合計51点以上の全てを満たす者が合格

○訓練時間

9時10分から15時40分まで

○教科書代等自己負担額

15,500円(税込)

○説明会

9月15日(金) 14時から14時45分まで
 9月21日(木) 10時から10時45分まで ※予約不要
 ※上記の日時で都合が悪い場合は、お電話でご相談ください

○問い合わせ先

052-331-1531(担当:近藤・川瀬)

	科目	科目の内容	時間数	DX
学 科	訓練導入講習	訓練受講に関する諸説明、企業実習の事例紹介、実習レポートや実習先のホームページ等の客観的情報を基に企業実習先の意思決定	30	
	児童英語講師に必要な心構え	現代社会で必要とされるこども英語講師のニーズや課題の発見と理解	6	○
	仕事の理解	児童英語講師の仕事とは(民間スクール、公立小学校、自宅教室等)講師に必要な資質、英語教育の歴史と変遷、英語教育の新たな価値観の理解	9	
	児童心理	児童英語講師として必要な年齢別の児童心理、3歳から15歳までの児童心理を英語学習に照らし合わせ理解する、児童の立場に立った指導法の発見	6	
	英語力養成	基礎的な英語力の養成(多様性の尊重と理解)、発音訓練	83	
	レッスンプランの作成	小学校(低中学年)の各4回分のレッスンプラン作成、新しいアイデアの思考の整理	6	
	第二外国語習得教授法	直接法(Direct Method)、教材研究、音声学、クラスコントロール、全身反応法(TPR)、Reading & Writingの指導法、従来のレッスンを見直した指導方法の検討	27	
	カリキュラム作成	年間を通じたカリキュラムの作成や、より良い学習の進め方を検討	6	
	TOEIC対策講座	試験形式の理解、問題を解答後のフィードバック、TOEIC IPテストによる成果確認	27	
	演習ガイダンス	ロールプレイでのテーマや進め方、注意点、教えるべきポイントを主体的に学ぶ	16	
	企業実習ガイダンス	企業実習に関わる諸手続、実習環境や働き方、新たな職場の価値観の理解	8	
	就職支援	キャリア・コンサルティングによる自身のキャリアの振り返り、こども英語講師業界の情報提供やその他就職支援、ジョブインタビュー(英語の面接対策)	15	
			小 計	239
実 技	レッスン計画作成	実際のレッスンを想定したレッスン計画作成、ロールプレイの反復的改善	44	
	ロールプレイ演習	年齢別、テーマ別のデモレッスン、公立小学校で導入されているデジタル教材を使用したデモレッスン	77	○
	企業実習	実践的に仕事を体験し、異なる価値観の認識、専門知識、スキルを学ぶ	321	
		小 計	442	
		合 計	681	

※ 訓練開始日に入校式、訓練最終日に修了式を実施します。

※ DX欄に「○」が記載されている科目には、DX推進カリキュラム(業務におけるデータ・デジタル技術の活用事例、データ・デジタル技術の様々な業務での利用法、各種ツールの知識や状況に合わせた適切なツールの選択方法等)が含まれています。